

# ペイオフ解禁に備えた佐世保市の対応策

## ( 管理基準 )

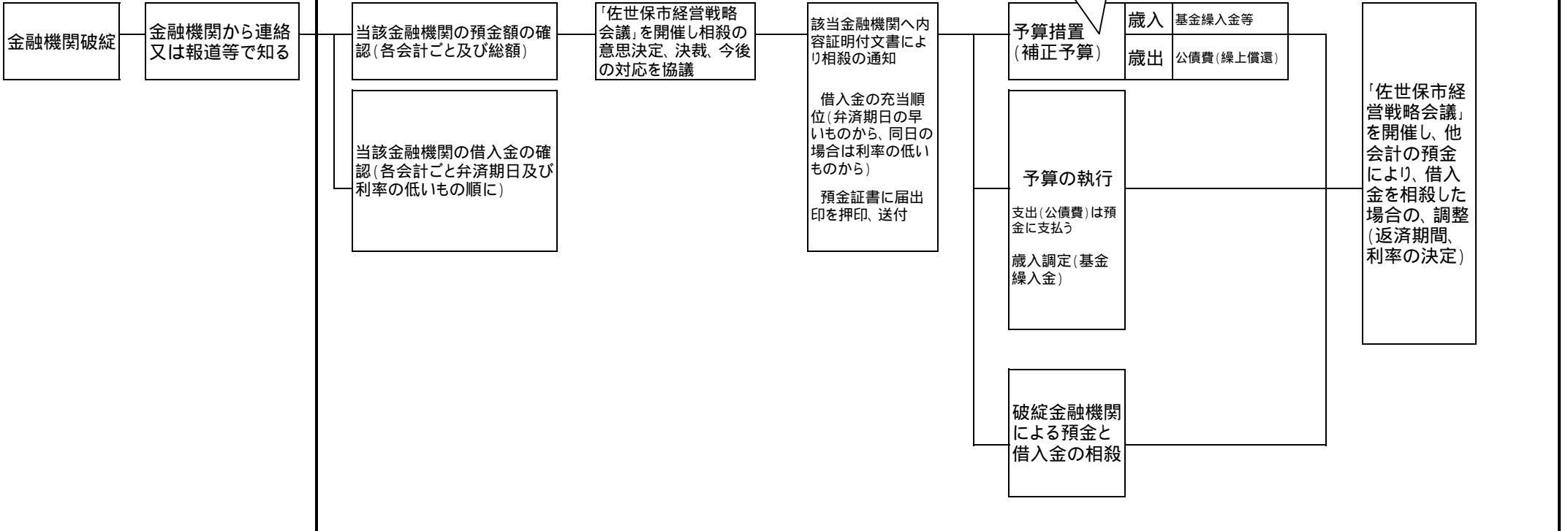
- 1 . 債権債務の相殺手続きのフロー
- 2 . 金融機関の経営状況把握のための指標

# 1.債権債務の相殺手続きのフロー

## 資金援助方式

救済金融機関に引き継ぐ

## ペイオフ方式



## 2. 金融機関の経営状況把握のための指標

### 基本的経営指標について

#### 1 収益力

ROA (Return on Asset) 総資産利益率	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総資産に対する利益率で、どれだけ資産が効率的に運用されたかを評価するための指標。</li> <li>・銀行の場合、最近では分子となる利益には業務純益(またはコア業務純益)が使われることが多い。</li> <li>業務純益ROA：業務純益 ÷ 総資産平残</li> <li>当期利益ROA：当期利益 ÷ 総資産平残</li> </ul>
ROE (Return on Equity) 株主資本当期利益率	<ul style="list-style-type: none"> <li>・株主資本に対する利益率で、株主が投下した資本に対し、企業がどれだけ利益を上げたかを評価する。</li> <li>・株主あるいは投資家にとっては、極めて重要な指標。</li> <li>当期利益ROE：当期利益 ÷ 株主資本平残</li> </ul>

#### 2 効率性

OHR (Over Head Ratio) 業務粗利益経費率	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務粗利益に対する経費の比率。</li> <li>・銀行の収益力の面でその効率性を測る代表的指標。</li> <li>・債券損益を除いたコアの業務粗利益で算出することが多い。</li> </ul>
-----------------------------------	--

#### 3 健全性

自己資本比率	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リスクアセットに対する自己資本の比率。</li> <li>・国際統一基準(8%~)と国内基準(4%~)がある。</li> </ul>
Tier1比率	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己資本比率規制上の自己資本のうち、資本金や資本準備金などの基本的項目をTier1という。</li> <li>・Tier1比率とは、このTier1のみをリスクアセットで除した比率で、最近重視されるようになってきている。</li> </ul>
不良債権比率	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不良債権には、金融再生法に基づく開示債権と銀行法に基づくリスク管理債権の2種類がある。</li> </ul>
不良債権に対する引当率・ 保全率	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単純な不良債権比率(不良債権の残高/貸出金)だけではなく、将来に備えての貸倒引当金等の引当や担保等による保全がどの程度なされているかがポイント。</li> </ul>

\* 不良債権の比率および不良債権に対する引当率は、法定の開示項目ではないため、銀行によっては開示していない場合もあります。また、現状では引当率の計上基準が銀行によって異なる場合もあるので、比較をする場合には注意が必要である。

4 流動性 預金量の推移

5 市場データ 株価の推移

格付の状況